

認知症に関する活動計画（概要）

愛媛県作業療法士会では、2017年度より認知症地域支援部門を立ち上げている。認知症地域支援事業として、東予・中予・南予地区別に部員を配置し、県内各市町村や関連団体より依頼を受け、認知症サポーター養成講座や、介護予防事業等へ出向き、作業療法士として地域支援に資する活動を行っている。

各市町村の地域包括支援センターとの繋がりも徐々に実現し、それぞれの部員が各地域に出向いて活躍できるように、体制作りを強化していく。

認知症地域支援事業

2019年度に「三浦保」愛基金の助成を受けて、認知症予防・啓発を目的とした「えひめカンカン体操」DVDを作成した。そして、愛媛県下全ての社会福祉協議会・地域包括支援センター、県士会員へDVDを配布し、説明会を行っている。

市町村からの依頼に応じて、介護予防事業や出前講座等にスタッフを派遣している。地域で活動する際には、認知症予防啓発を行うと共に、DVDの説明も加え、認知症予防の1つの手段となるよう啓発活動も行っている。

また、昨年度は全国健康福祉祭えひめ大会に向けて認知症予防に関するリーフレットを作成している。DVD配布と合わせて認知症予防に対する啓発活動を行っている。



第35回全国健康福祉祭えひめ大会「ねんりんピック笑顔のえひめ2023」

2023年10月28日～30日の3日間、健康フェアの出展依頼が当県士会にあり、認知症地域支援部門がブースを担当した。内容は、脳活 balanser による認知機能検査と、認知症に関する相談及び認知症予防について行った。

認知症予防では、「えひめカンカン体操」DVDの実践やリーフレットを使用しての認知症予防の説明を行い、希望者には配布も行った。参加者は、一般高齢者はもちろんのこと、家族で参加されることも多く、それぞれの認知機能を楽しく評価し、認知症予防での体操等、笑顔で行う事の重要性を伝達できたと感じる。



認知症に関する研修など

愛媛県リハビリテーション専門職協会と共催で、作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・その他職種に対して、認知症アップデート研修を毎年開催している。昨年度からは国内外の認知症の動向やBPSDの理解、臨床に役立つ知識の整理等を中心に基礎的な内容の統一を図っている。

また、どの領域・地域でも期待される役割に応えられる作業療法士が育成できるよう「認知症地域支援に関わる作業療法士の育成」を題材に、実際に地域で活動している作業療法士を招いての研修会を予定している。